

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

「お客さま本位の業務運営に係る取り組み方針」 取組結果

(2024年4月～2025年3月)



T&Dアセットマネジメント株式会社

「お客さま本位の業務運営に係る方針」

方針1 より良い商品・サービスの提供

私たちは、お客さまの多様なニーズにあった質の高い商品・サービスをご提供します。
より良い商品を継続的にご提供していくため、プロダクトガバナンス体制を整備し、提供する商品の商品性を継続的に検証し、商品の改善等に繋げていきます。
また、「T&Dアセットマネジメント責任投資方針」に基づき、責任投資への取り組みを推進します。

方針2 お客さま本位の情報提供

私たちは、お客さまが商品をご選択されるにあたって、必要となる重要な情報について、お客さまに正しくご理解いただけるよう、よりわかりやすい情報提供に努めます。
また、お客さまにご負担いただく手数料その他費用について明確にします。

方針3 業務運営の質の向上

私たちは、お客さまとの末永い信頼関係を築いていくため、お客さまサービス態勢や事務・システムの整備を含む業務運営の質の向上に取り組めます。

方針4 利益相反取引の適切な管理

私たちは、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、利益相反のおそれのある取引を適切に管理するための方針を策定、公表するとともに、利益相反のおそれのある取引を適切に把握・管理してまいります。

方針5 「お客さま本位」の行動を実践する人材の育成等

私たちは、役職員に常に「お客さま本位」の姿勢を徹底することを指導するとともに、お客さまとの末永い信頼関係を構築していくため、高い倫理観を持ち、専門的な知識を兼ね備えた人材を育成します。
また、本方針に基づく行動を促進する態勢の構築に取り組みます。

方針6 推進態勢

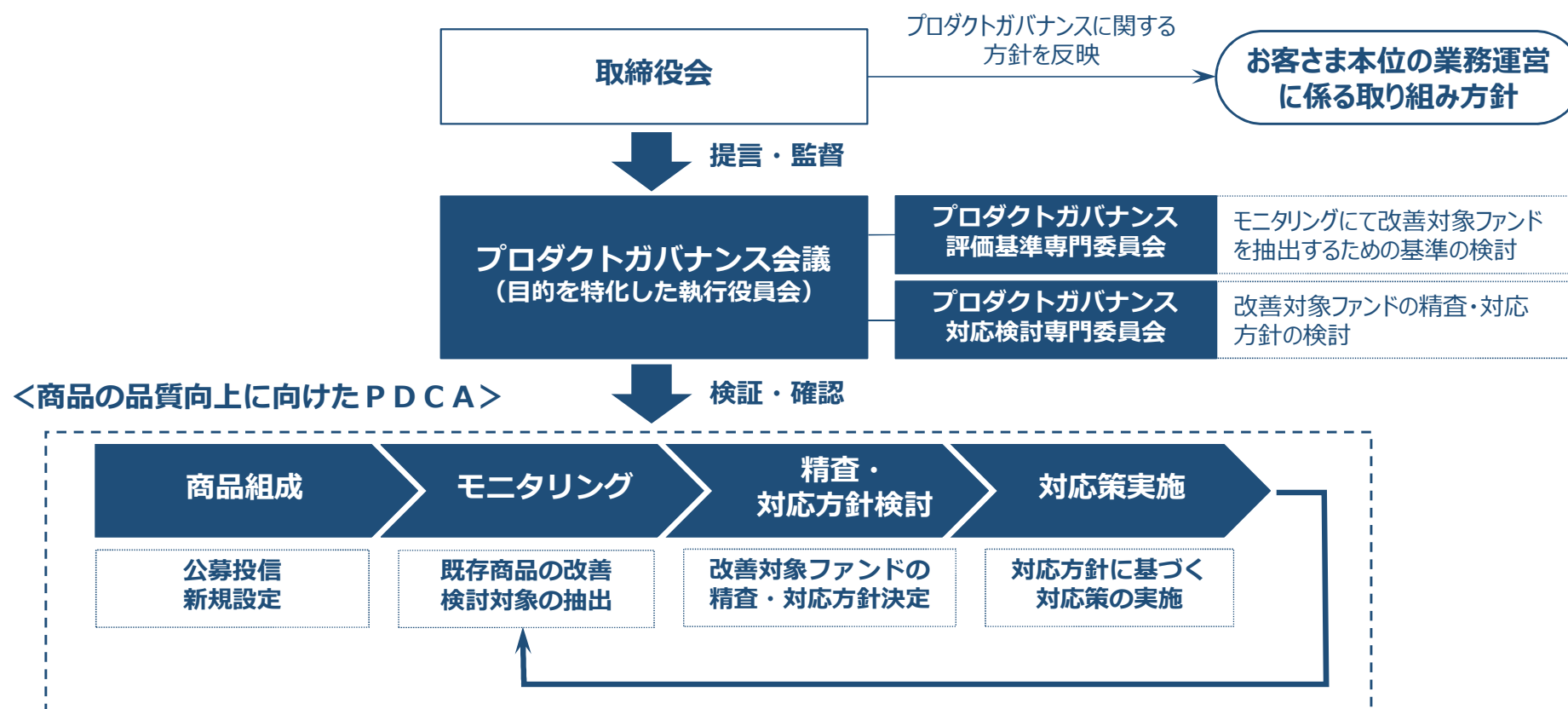
私たちは、お客さま本位の企業活動を推進するため、本方針に基づく取り組み状況を取締役会等に定期的に報告するとともに、その内容を公表します。また、本方針についても見直しの必要がないか定期的に確認を行います。

2024年度の主な取組み 目次

方針1	より良い商品・サービスの提供	P 3
方針2	お客さま本位の情報提供	P 6
方針3	業務運営の質の向上	P 7
方針4	利益相反取引の適切な管理	P 8
方針5	「お客さま本位」の行動を実践する人材の育成等	P 9
方針6	推進態勢	P11

1 プロダクトガバナンス体制

- 2025年4月に「お客さま本位の業務運営に係る取り組み方針」にプロダクトガバナンスに関する方針を反映し、プロダクトガバナンスに関する検討を集中的に行う「プロダクトガバナンス会議」の運営を開始しました。
- 「プロダクトガバナンス会議」では公募投信に関する商品組成・提供・管理の各プロセスの検証・確認を通じて、商品の品質の統制を行います。
- なお、既存商品のモニタリングを行う際の基準や対応方針について、より専門的なメンバーで詳細な検討を行ったうえでプロダクトガバナンス会議で判断する複層的な体制を構築するため、2025年6月に2つの委員会を新たに設置しています。



2 商品開発

- お客さまの長期的な資産形成に貢献できるよう、多様なニーズに応える商品提供を行っています。2024年度は以下の2商品を新たに提供しました。

◆ 米ドル建ゴールドマン・サックス社債／米国テクノロジー株式指数ファンド
（早期償還条件付）2024-08 （愛称：アメリカンギフト）

※ 単位型のため、既に当ファンドの申込期間は終了しています。

◆ 米国株式・研究開発リバランスファンド （愛称：THE R&D） →

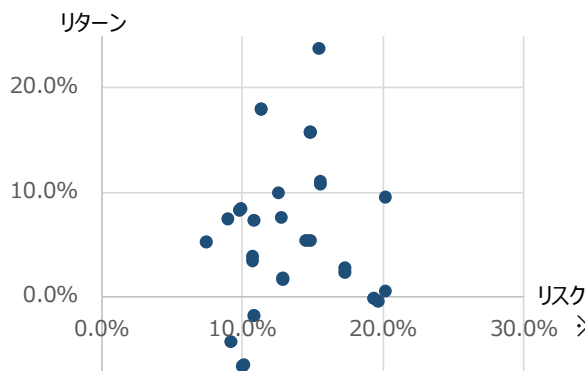
※ 当ファンドはNISA（成長投資枠）対象ファンドとなります。



3 既存商品の運用状況および改善検討

- プロダクトガバナンス会議にて改善を検討すべきファンドを抽出するための基準を定めるとともに、この基準に基づき抽出した13ファンドについて精査・改善対応の検討を行っていく予定です。また、販売会社との購入顧客の属性に関する連携について（社）投資信託協会における検討状況を踏まえ準備を進めてまいります。

＜過去3年の公募投信のリスク・リターン分布＞



中長期のリターンや他社との比較、コスト等も踏まえ、
精査・改善検討の対象を洗出し

※ インデックスファンド・
元本確保型ファンド等を除く

公募投信

57ファンド

精査・改善検討

13ファンド

- なお、当社で運用している「T & Dインド中小型株ファンド（愛称：ガングス）」が、「ダイヤモンド・ザイ NISA投信グランプリ2025」において新興国株部門（インド株）で「優秀賞」を受賞しました。（巻末 注1）
今後もお客さまに信頼される商品の提供と運用に努めてまいります。

4

責任投資の推進

- 当社は、「T & Dアセットマネジメント責任投資方針」にもとづき責任投資を推進しています。運用会社が責任投資を推進するにあたり、対外的に取組みを具体的に示すことが求められています。2024年6月に責任投資方針を改正し、「気候変動」、「生物多様性」、「人権」を重要なサステナビリティ課題として定義し、ホームページにおいて公表しました。併せて、協働エンゲージメントおよびエスカレーションに対する考え方も明文化しました。

◆ESG投資

- ✓ 自社アクティブ運用において、引き続きESGインテグレーションを推進しました。
- ✓ ESGネガティブ銘柄に対する当社の考えを新たに対外的に公表しました。

◆エンゲージメント

- ✓ 企業との対話の中で企業の経営戦略やその方向性が持続的成長に沿わないと判断した場合には、当社の考えを伝え、持続的成長の実現に向けた議論を継続して行いました。
- ✓ エンゲージメントの効率性・実効性向上を目的に企業の課題とゴールを可視化するなどエンゲージメントの進捗管理体制を整備しました。

◆議決権行使

- ✓ 議決権行使については、企業の状況や対話の内容を踏まえた行使に努めました。
- ✓ 議決権行使結果は、議案の種類ごとの集計結果に加えて、個別議案の賛否判断を四半期ごとにホームページにて公表しました。
- ✓ また、外観的に利益相反が疑われる議案や説明が必要と考えられる議案等、投資先企業との建設的な対話に資すると判断される議案については、賛否に関わらず理由を開示しました。

1 手数料その他費用の明確化

- ・お客さまにご負担いただく手数料その他費用については、目論見書・運用報告書等において公表を行っております。
- ・商品開発にあたっては、コスト・収支分析等を実施することにより、運用報酬等が適正水準にあることを検証しました。

2 わかりやすい情報提供

- ・当社ホームページ（以下、HPといいます）でお客さまによりわかりやすく情報提供できるよう、「T & Dインド中小型株ファンド」については、月次で定期的なレポートや随時お客さま向け資料を掲載しました。加えて、わかりやすい商品説明動画を更新するなどお客さまに有用な情報を提供するとともに、SNS配信も活用し情報提供しています。2024年11月に新規設定された「米国株式・研究開発リバランスファンド」（愛称：THE R & D）に関しても、愛称となっているR & D（研究開発）にフォーカスした組入銘柄への理解度を深めるために適時お客さま向け資料を当社HP掲載に掲載しました。

＜T & Dインド中小型株ファンド 情報提供資料・商品説明動画＞



＜TDAM フォワード・ルッキング・リサーチ＞

- ・適時開示ルールに基づき、騰落率が前営業日比5%超となったファンドを対象に作成する「臨時レポート」に加えて、日経平均株価指数が前営業日比で3%超下落した場合に投資家向けに幅広く情報提供を行うべく「TDAMマーケット・レポート」を作成し、当社HP上に可能な限り迅速に開示しました。
- ・当社のチーフ・ストラテジストが経済・金融に関わる旬な話題を独自の視点で執筆した「TDAM フォワード・ルッキング・リサーチ」は当社HPの他に賛同いただいた販売会社のHPでも掲載いただいています。今期は計15本を掲載しました。
- ・販売会社向けに想定する顧客属性等を記載した重要情報シートの基礎データの提供を2021年12月より開始し、目論見書の改訂に応じて更新しました。想定する投資家層に販売が行われるよう販売会社に働きかけました。



【方針2】お客さま本位の情報提供

対応関係：原則4～6
補充原則3,5

3 運用担当者の開示

- ・ 2025年1月より、当社ホームページの運用担当者に係る事項に、公募投信の運用担当部と各運用担当部の運用責任者の情報（氏名・運用経験年数）を追加しました。

【方針3】業務運営の質の向上

対応関係：原則2

1 お客さまサービス態勢向上や事務・システム整備

- ・ 金融庁や投資信託協会の法令や諸規則の改正が行われた場合には、社内規程や業務マニュアル等について検証を行い、必要な見直しを適宜実施しました。
- ・ ホームページサーバの脆弱性診断の実施など継続的に情報セキュリティの改善に取り組みました。

1 利益相反取引の適切な管理の継続的な実施

- 利益相反が懸念されるファンド間売買、一括発注の状況等について日次で検証を行い、管理状況をコンプライアンス委員会に報告しました。
- グループ会社との契約においては、利益相反の観点から契約内容の妥当性を確認し、コンプライアンス委員会に報告しました。
- ファンド・マネージャーについては、2024年度中に利益相反取引を行っていないことを宣誓書にて確認し、コンプライアンス委員会に報告しました。
- 当社およびグループ会社の関係先である企業に対する議決権行使が議決権行使ガイドラインに沿って適切に行使が行われていることを検証し、スチュワードシップ活動委員会に報告を行いました。

(注) なお、当社では、グループ会社に販売会社の機能を有する会社はありません。また、当社運用部門とグループ会社の営業部門とは、情報が遮断されており、投資判断にグループ会社の取引先であることを考慮することはありません。

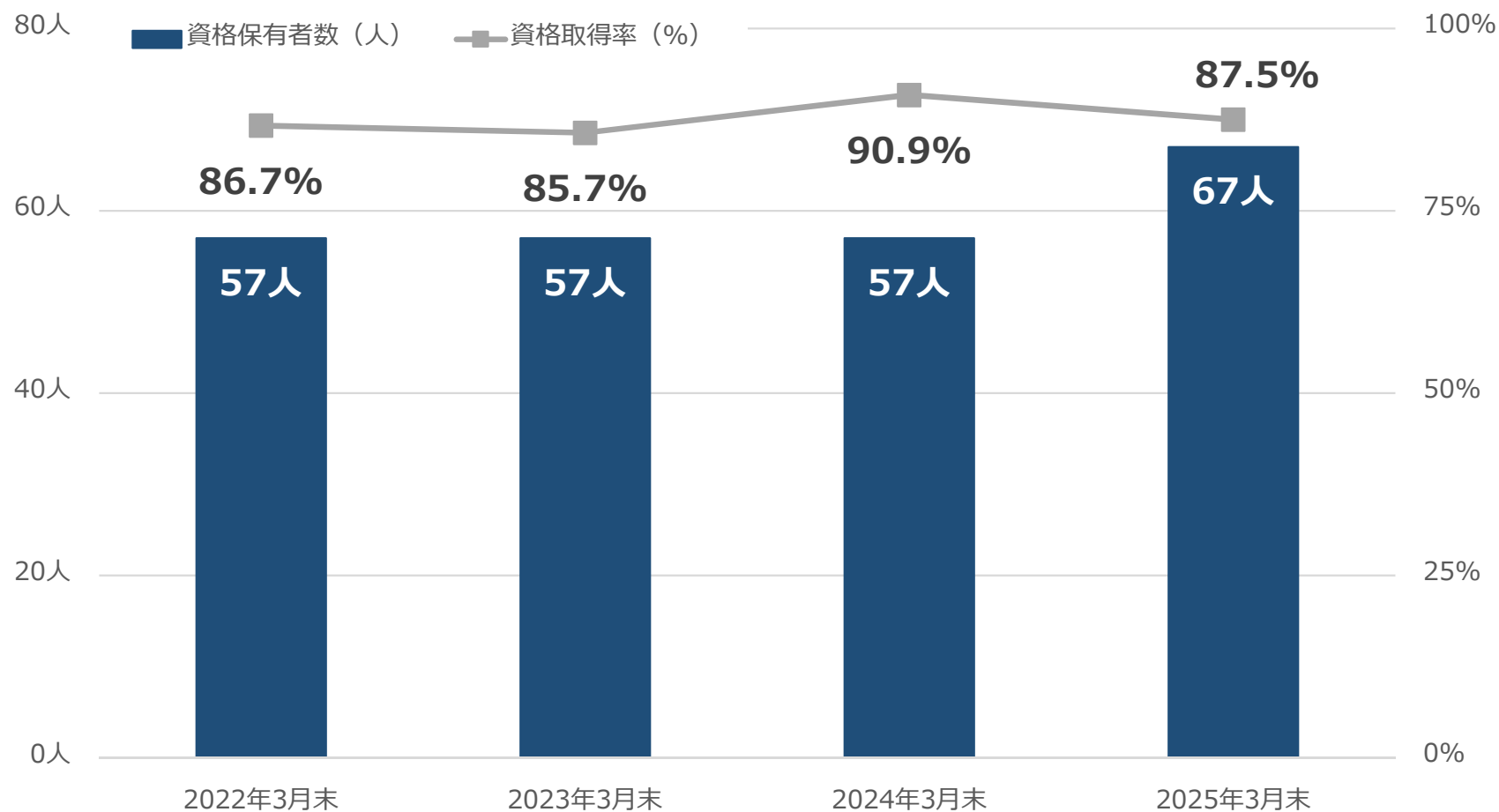
1 人材育成の取組み

- 経営理念に基づいた経営方針を経営計画や執行計画に反映し、定期的に役職員へ説明を行っています。会社の経営指針が役職員一人ひとりの行動指針となり、意識を高めることに繋がります。経営理念の浸透を図ることにより、お客さま本位の姿勢の徹底に努めました。
- 「お客さま本位」の行動を実践する人材を育成するため、全ての役職員がフィデューシャリー・デューティ（FD）を理解し、実践していくことが重要だと考えています。業務の中で役職員が実践していけるよう、お客さま本位の業務運営に係る取り組み方針、取組結果の周知等について全社研修を実施しました。
- 全役職員を対象に高い倫理観やコンプライアンス意識の醸成に向けたコンプライアンス研修を実施しました。また、インサイダー取引防止研修等、様々なテーマについても全社研修を実施し、テーマ毎にその意義と重要性の周知を図りました。
- 部長、室長、管理職候補生を対象にマネジメント能力の向上を目的とした支援、育成を行い、英語力強化やグローバル人材育成を目的とした研修を継続的に行うなど、様々な能力開発支援制度を設け、人材の育成・確保に取り組んでいます。また、資格等の取得・維持に関する基準の制度について見直しを図り、対象資格を拡充するなど高度な専門性を有する人材育成に取り組みました。

2 営業部門内の研修の実施

- 全社的なコンプライアンス研修以外に営業部門内でも定期的にコンプライアンス研修を実施するなどして、法令遵守すべき内容は更新され周知徹底されています。このようにして知識不足によりお客さまの利益が不当に害されることのないよう、細心の注意を払って組織運営を行いました。
- 商品知識はもちろんのこと、販売会社担当リレーションシップマネージャーの販売促進活動を通じたフィードバック、販売会社とお客さまからの電話などによる問合せ内容などを部内で共有化し、均一で質の高い顧客サービスをできるよう徹底しました。また、現状の行動に満足することなく、さらなる改善に努めました。
- 営業活動は日々営業部門内で共有され、必要に応じて関係部署に報告の上対応をしています。月間ベースでは書面で執行役員会や取締役会へ報告がされています。

3 証券アナリスト資格保有者数および運用担当者における証券アナリスト資格取得率



1 「お客さま本位の業務運営」の取り組み状況の取締役会報告

- 「お客さま本位の業務運営」の取り組み状況について、取締役会に定期的に報告することとし、2025年5月度取締役会において、2024年度の取り組み結果を報告しました。

ご留意いただきたい事項

当資料は、情報提供を目的として作成されており、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

4頁（注1）：

■「ダイヤモンド・ザイ NISA 投信グランプリ 2025」について

ダイヤモンド社が発行する月刊マネー誌『ダイヤモンド・ザイ』が主体となり、「個人投資家目線で NISA で本当に買いの投信を表彰する」新しいアワード。2023 年からスタートして今年で 3 回目。個人投資家にとって、長期で安心して保有できる投資信託を公平・中立な立場で実績の数値をもとにした完全な実力主義で選出している。評価方法の詳細は『ダイヤモンド・ザイ』2025 年 6 月号に掲載。

「ダイヤモンド・ザイ NISA投信グランプリ2025」は、『ダイヤモンド・ザイ』編集部が信頼し得ると判断した過去のデータに基づいた情報提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また本グランプリは信用格付を行うものではありません。本グランプリに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は『ダイヤモンド・ザイ』編集部に帰属しており、無断転載・複製等を禁じます。

【評価対象】について

- ・2024 年 12 月末時点で、日本国内で販売登録されており、新 NISA 対象の投資信託
- ・2024 年 12 月末時点で、5 年以上の運用実績がある投資信託。フレッシャー賞は 3 年以上 5 年未満の運用実績がある投資信託。
- ・2024 年 12 月末時点で、純資産 10 億円以上の投資信託。